

更衣・ジャンパー着衣の工夫 (脳血管障害 片麻痺)

厚手のジャンパーが着れなくて困っていた左片麻痺の方に、 ビニール袋を用いた事例(市販品)

左片麻痺の方が厚手のジャンパーが着れなくて困っていたので、ビニール袋を患側の腕にはめて摩擦を減らすことで袖が通りやすくなり、一人で着られるようになった。

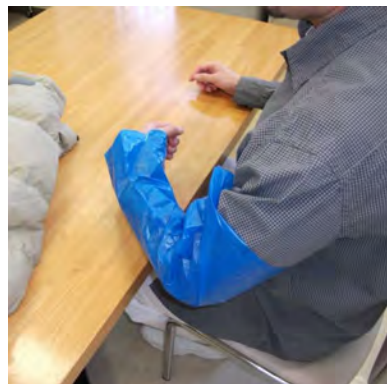


腕を入れられる筒形のビニール袋。

- ①ビニール袋を腕に通す。
- ②ビニールを付けたままジャンパーの袖を通す。
- ③着替えが終わったら袖口からビニール袋を抜き取る。

【利用者・家族の声】

着れないと思っていましたが、着る事が出来て嬉しい。



心身機能・構造の特徴		左片麻痺、感覚障害、関節可動域制限、痙縮、疼痛
活動・参加の制限の特徴		ジャンパーを一人で着られない。
工夫したポイント		服と服の間にビニールを挿入することで摩擦を減らせた。 また市販の介助補助手袋(筒形のビニール袋)用いることで腕にはめやすく抜きやすい。
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)		抜き取る際引っ張りすぎると破れてしまう。
使用した製品	商品名(材料名)	介助補助手袋(ディスプレイブルタイプ)
	入手先・価格	ネット通販等 4,000円前後(50枚入)
備考		筒形になっている介助補助手袋を選択したが他のビニール袋でも代用は可能。